

特別支援学校による教育相談、コンサルテーションの現状と課題

竹澤大史（和歌山大学）、福田規江・島田裕代（和歌山県立紀北支援学校）、岩崎朝蔵・山本知佳（和歌山市立四箇郷北小学校）、小山朱美（和歌山県立たちばな支援学校）、谷本沙紀（和歌山市立太田小学校）、村木美奈（和歌山市立雑賀崎小学校）

本稿では、「小学校における現職教育研修と地域連携体制づくり—個別の教育的ニーズに応じたコンサルテーションを通して—」と題した研究テーマに関連して、特別支援学校による地域の学校等への教育相談、コンサルテーションの現状と課題について述べる。

1. 特別支援学校が実施する教育相談とコンサルテーションについて

特別支援学校に期待されるセンター的機能のうち、小・中学校等の教員への支援機能や特別支援教育等に関する相談・情報提供機能、小・中学校等の教員に対する研修協力機能などに関する役割として、障害や特別な教育的ニーズのある子どもの指導・支援に関して、地域の学校の教師に具体的な助言や提案を行う教育相談がある（文部科学省，2017）。

国立特別支援教育総合研究所のホームページ「教育相談情報提供システム」によると、教育相談は、子どもの「発達や障害の状態に応じて、必要な支援・援助を行う幅広い活動」を意味し、「学校での教育相談では、教育上の課題や子どもの教育に関して、本人・両親・教師・専門家（例えば医師やカウンセラーなど）が評価や話し合いをする中で、教育に関する指導助言を受けたり、与えたりすること」である。障害のある、又は特別な教育的ニーズのある子どもの教育相談では、子どもだけでなく、保護者や担任も支援の対象者となり得る。相談内容は、「障害（から生じる）にまつわる課題の改善や解決に向けた方策に関すること、子どもや保護者の心理的なケアに関すること、就学や進路に関すること等」であり、「環境調整、学習面や家庭生活での配慮や工夫、障害そのものへのアプローチ等」の助言や提言がなされる。

一方、「困難な問題に直面している相談者に、その問題や課題を評価・整理し、解決に向けて相談者の力量を引き出すための支援を行う相談」をコンサルテーションと言う（国立特別支援教育総合研究所）。特別支援学校が地域の学校等へコンサルテーションを実施する際、コンサルタント（教育相談等を担当する教員）は、担任等からの聞き取りや場面の観察を通して情報を収集し、指導・支援に関する助言や提言を行う。

2. 特別支援学校による教育相談等の実施状況について

（1）教育相談等の実施件数

A 特別支援学校（以降、A校とする）は、管轄内の3市町の学校や施設を対象に教育相談等を実施している。表1に、令和4年度（12月まで）におけるA校の教育相談等の実施件

数を示した。相談依頼機関は、保育所・幼稚園等、小学校、中学校、高等学校、その他であった。相談の形態により教育相談（訪問、来校、電話）、巡回相談、研修協力に分けて、それぞれの件数を示した。更に教育相談について、訪問相談、来校相談、電話相談（オンライン相談を含む）に分けて、それぞれの件数を示した。

相談の形態では、教育相談（訪問）の件数が最も多く（33件；71.74%）、また相談依頼機関では、中学校、小学校の件数が多かった（それぞれ、20件；43.48%、18件；39.13%）。

表 1. A校の教育相談等の実施件数（令和4年度12月まで）

相談依頼機関	教育相談			巡回相談	研修協力	合計
	訪問	来校	電話 (オンライン含む)			
保育所・幼稚園等	1	0	0	1	0	2 (4.35%)
小学校	17	0	0	1	0	18 (39.13%)
中学校	14	5	1	0	0	20 (43.48%)
高等学校	1	0	0	0	0	1 (20.00%)
その他	0	1	1	2	1	5 (10.87%)
合計	33 (71.74%)	6 (13.04%)	2 (4.35%)	4 (8.70%)	1 (2.17%)	46 (100%)

（2）教育相談等の実施後のアンケート結果

教育相談等を利用した相談依頼機関に事後シートへの記入を依頼した。ここでは、得られた9件の回答について紹介する（令和4年度12月まで）。

- ① 教育相談等において提示された指導や支援のうち、実践に活用できそうな内容・印象に残った内容について、自由記述の分析から4つのカテゴリー（実態把握、具体的な指導や配慮、指導や配慮の考え方、連携）を作成した。各カテゴリーの件数を図1に示す。

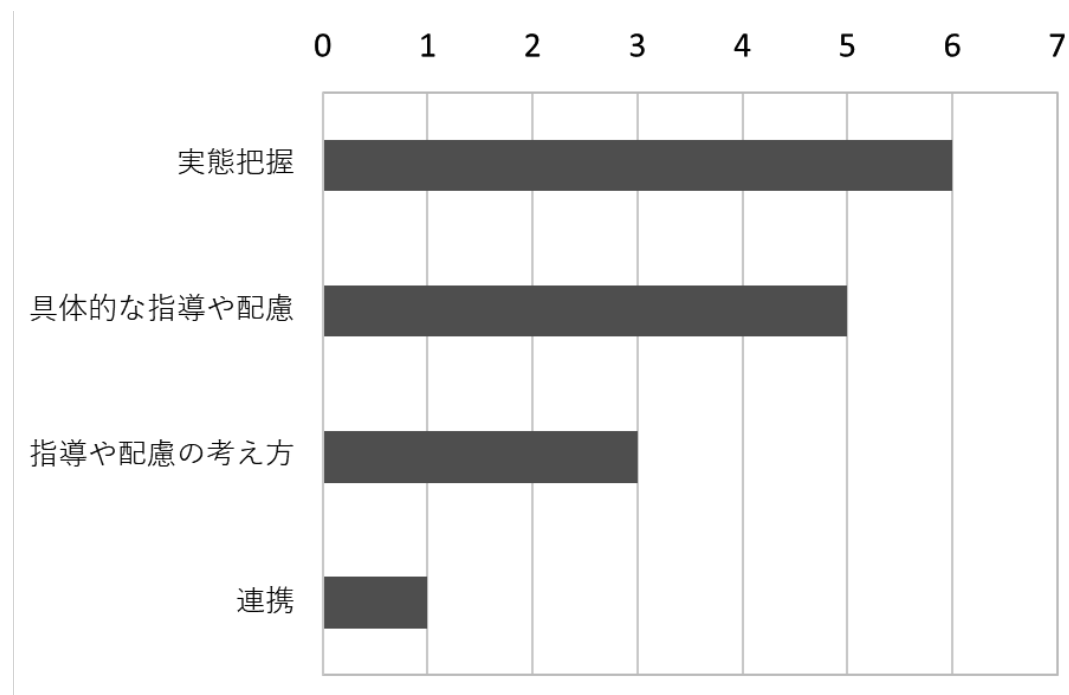


図 1. 教育相談等において、指導や支援で活用できそうな内容、印象に残った内容
(カテゴリー別の件数)

実態把握のカテゴリー（6件）には、実態の整理や障害特性、発達段階と目標設定、ことばの習得等に関する記述がみられた。具体的な指導や配慮のカテゴリー（5件）には、書字への配慮やルールを明確に示すこと、分かりやすく指示を出すこと、視覚支援の方法、問題となる行動への対応などの具体例が記された。指導や配慮の考え方のカテゴリー（3件）には、事前準備の必要性、子どもの得意なことを活かす、褒めることの大切さ、問題となる行動の捉え方、子どもの気持ちに寄り添うこと等の具体的な記述があった。連携のカテゴリー（1件）では、情報提供に関する具体例が記された。

- ② 教育相談等の実施後の話し合いの機会に関する質問に対し、教員間で話し合う機会をもった（7件）、保護者との話し合いの機会をもった（2件）との回答が得られた。
- ③ 教育相談等の実施後に取り組んだ内容と子どもの様子に関する記述を表2に示す。記述のまとめから、教育相談等で提示された取り組みを実践した後、子どもの様子に変化がみられる傾向が伺える。

表 2. 教育相談実施の取り組みの内容と子どもの様子

取り組みの内容	子どもの様子
書字の代わりに、板書の内容を教科書から探し出し、重要な部分に線や印を付けるよう指導した。	丁寧に書くことにこだわっていたり、パニックになったりしていたが、指導後は落ち着き、教師の話を聞く時間が増えた。
教師が指示を出す際に、短く、単語で伝えた。	教師の指示に従い、すぐ行動に移すことができた。他の場面でも、以前より指示が伝わりやすくなった。
物語の挿絵を見せる際、数を限定（2枚）した。	挿絵を正確に並べていた。登場人物の人数について、以前より理解している様子だった。
子どもの発達段階に合わせて学習内容を設定した。	できたことを褒めると喜んでた。
授業の流れや取り組みの内容を視覚的に提示した。	次の活動に関する質問の回数が減った。
・棚を置いて、出て行かないことを示した。 ・入室禁止の場所に入らないように事前に制止した。	棚より先に行かなくなった。
身支度の流れを写真カードで示し、子どもが確認しながら取り組めるよう支援した。	写真カードに興味を示し、確認しながら自分で取り組む姿が見られるようになった。またスムーズに取り組めることが多くなった。
短い時間で、細かく区切ってタイマー設定をした。	集中して取り組むこともある。
製作等の工程表を示した。	関心を持って工程表を見ていた。気持ちがのらないこともあるが、見通しがもてるようになり、指示に応じることも増えてきた。
活動の始まりと終わりに合図を出すようにした。	何かが始まることを期待して話を聞きにくる姿が見られた。
短いことば（単語）での指示、好ましい行動への大きな反応（褒める）	褒められると嬉しそうにする。

（3）教育相談等の成果

A校では教員2名での相談実施率が令和2年度では約35%、令和3年度では約66%、令和4年度（12月まで）では約70%と上昇傾向にある。この背景には、校内の理学療法士や言語聴覚士などの資格を有する専門性の高い教員との連携の成果がある。また、校内の主事と相談し、児童発達支援事業所への研修協力を通じて、就学前の保護者への支援にも取り組むなど、校内の連携・協力体制の整備を進めている。

3. 特別支援学校が実施する教育相談、コンサルテーションに関する課題と対策

A校の教育相談等の実施状況及び成果の分析を通して明らかになった課題と対策について以下に述べる。まず、教育相談等にあたる教員の知識と技術の向上のため、教育相談等を適切かつ円滑に進めるために必要なファシリテーションやコンサルテーションに関する研修の機会を充実させることが重要である（国立特別支援教育総合研究所）。具体的には、スク

ールカウンセラー等と協力し研修の内容を検討したり、校内でのケース検討会を通して個々の教員の知識と技術の習得を図るなどの方法が考えられる。次に、教育相談等の内容や結果の記録に要する時間を短縮するため、記録フォームや記録方法の改善を通して効率化を図る必要がある。その際、継続して教育相談等を実施したり、子どもがA校への就学・進学する場合等のために、校内外で情報を共有できるよう記録フォームや記録方法を統一する等の工夫が求められる。最後に、教育相談等に関わる業務の偏りや担当教員の疲弊や孤立を防ぐため、校内での連携、協力体制を充実させる必要がある。また他校と教育相談等の情報交換を行ったり、外部の専門家によるスーパーバイズを受けるなど、校外の資源を活用するアプローチも有用である。

引用・参考文献

- ・文部科学省（2017）平成27年度特別支援学校のセンター的機能の取組に関する状況調査について（初等中等局特別支援教育課 平成29年3月7日）
- ・国立特別支援教育総合研究所ホームページ 教育相談提供システム「教育相談」（閲覧日：2023年1月15日）
- ・国立特別支援教育総合研究所ホームページ 教育相談提供システム「コンサルテーション」（閲覧日：2023年1月15日）